
結婚指輪物語
Tales of Wedding Rings
7
Presented by
めいびい

結婚指輪物語

TALES OF WEDDING RINGS


結婚指輪物語
Tales of Wedding Rings
7
めいびい

Tales of Wedding Rings

結婚指輪物語

7

Contents

Presented by
MAYBE



よく食べるな…
というか食べるんだなアンバルって
ドォーーーン!!
てっきり食事の類はしないものかと…
んぐ
んぐ
アンバルの一度の戦闘ごとにパンは約３千個ほど必要
しかしそれだけ食べて大丈夫なのか?
食べた物は一体どこへ……
そんなに!?
…ということはない
嘘
嘘かい!!
それは乙女のファンタジー
ドヤァ


第35話





結婚指輪物語

TALES OF WEDDING RINGS


はー
しかしのー
サトウ
お主…
まさか
深淵の魔物に
なるとは
哀れ
なのじゃ…



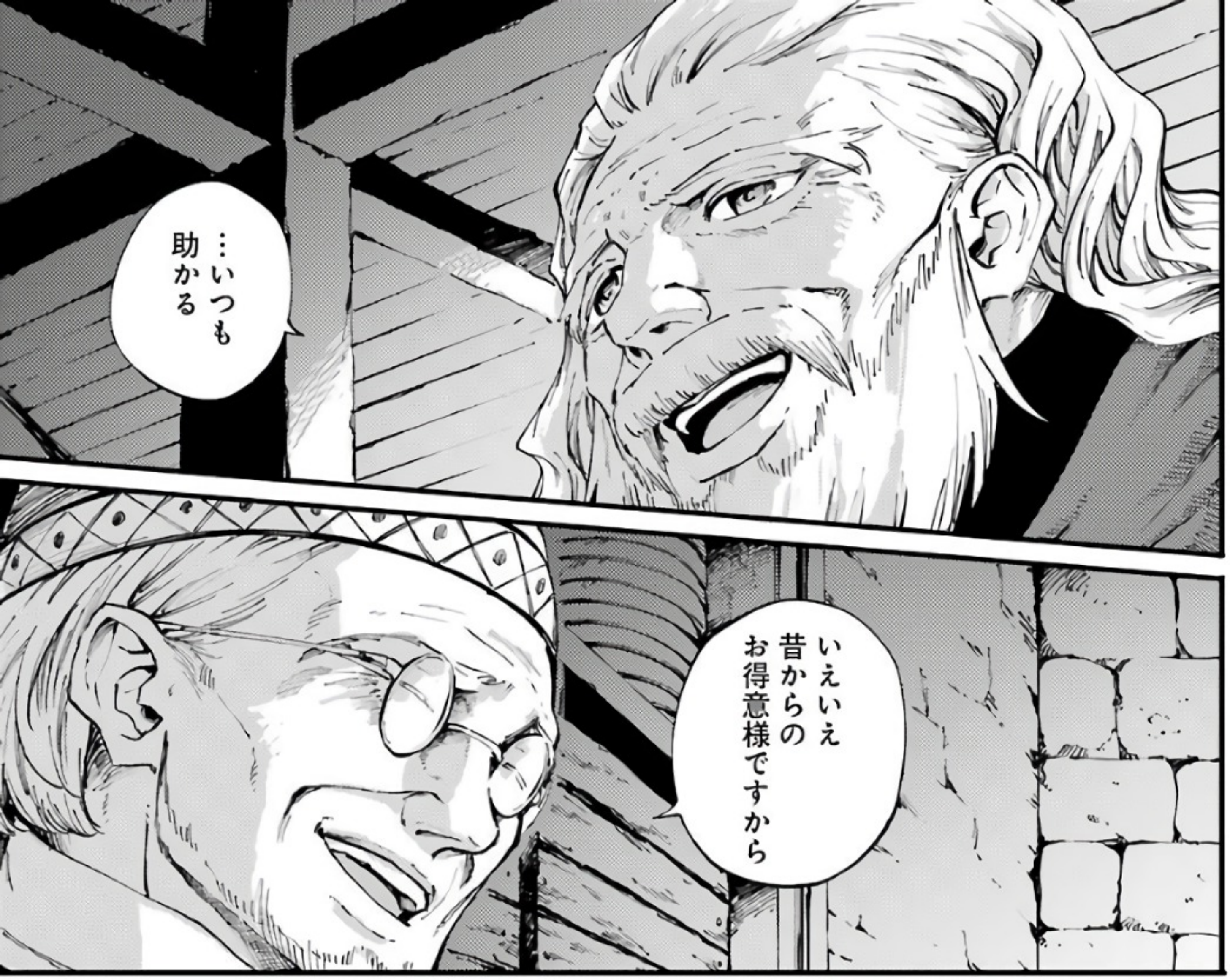
いや
それに関しては
抑え込めるという
話では…？
しかし
いつまで持つのか
わからんのじゃろ？
しばらくは
大丈夫じゃない？
お姉ちゃんが
頑張れる限りは
ね
そ……
そうだよ

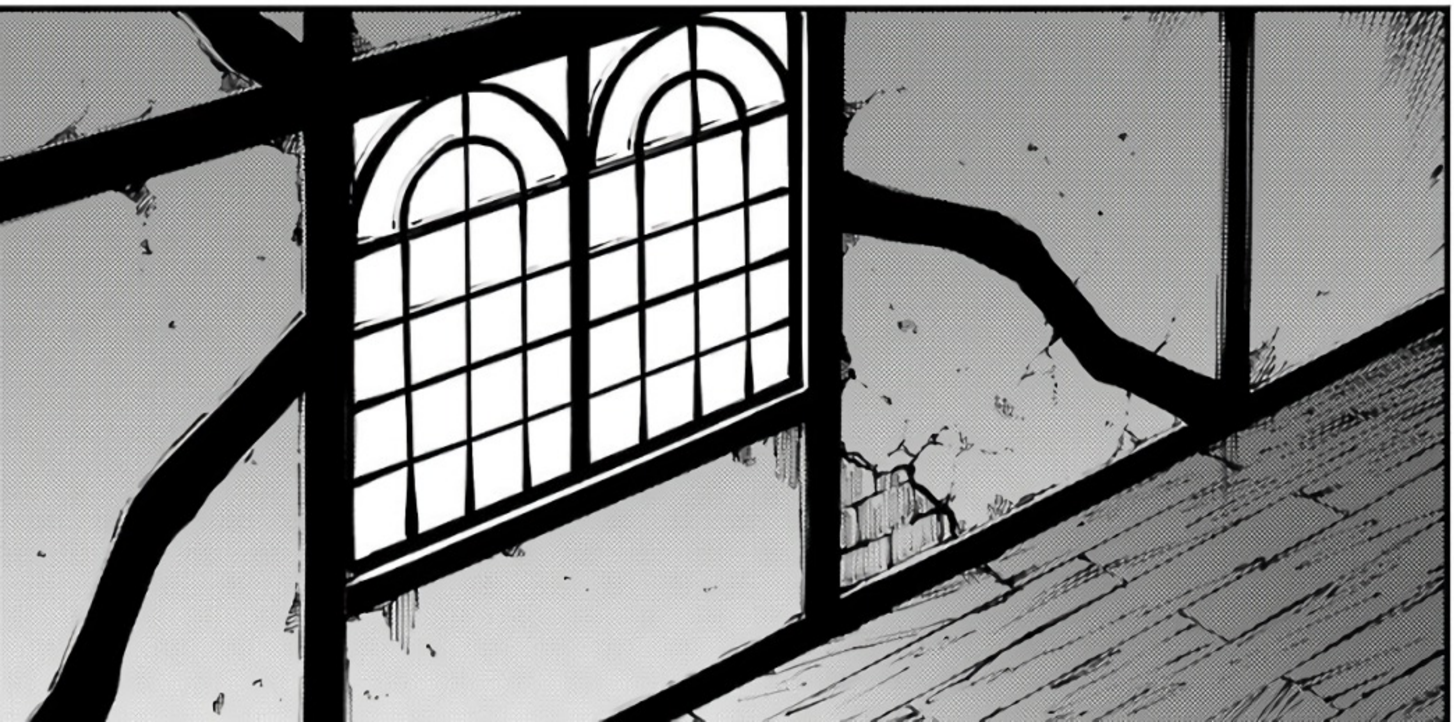

大丈夫だからね!!
がばっ
サトウ!!
いずれにせよ無視出来るモノではあるまい
深淵王の力…黒い指輪の存在も過去とは違うということだしな
そういえば…
こくっ
その深淵王だけどさ……


具体的には何者なんだ? ラスボス感はあるけど…
いちど聞いたけど よく分からなかった…
ラスボス感
何を今更!? こやつ大丈夫か!?
いや誰も説明しとらんかったのか!?
ま だいたい それで あってるよ
この世界に昔から伝わる『悪いモノ』
なんなのかホントのところは …誰も知らないいんだ
なんだって…!?
そんなふわっとしたヤツと戦ってるのか俺!?
闇の時代のことは触れることすら穢れを招く禁忌
深淵を想うことは深淵を呼ぶと信じられているからな
詳細な記録はすべて燃やされてしまったと聞く
アンバルも深淵王の情報は断片的
きっと同じ理由
…なるほど


だが『ロムカの大書庫』だけは例外なのじゃ
あれは聞くところによればエルフたちの墓だというが…
まあ行けばわかることだ
今日はとにかく食べて眠れ
指輪王もクリストルもな！
グラナート…ちょっとは調子が出てきたみたいじゃの
もしや腹でも減ってただけか？
…ん？なんのことだ……
なんでもないのじゃ


…すまんのう 夜更けに無理を 聞いてもらって
いえいえ 部屋なら空いて おりました ので
魔物が現れてから 旅人もめっきり 少なくなりました から…
我々のために 戦ってくださる 指輪王御一行には 申し訳ない 安宿ですが…
街道も安全では 無くなったというのに こうして宿を 続けておられる
ご主人こそ 立派じゃ
ここを訪れた行商が 言っておりました
誰かが物を運ばなければ 小さな村などは すぐに人が住めなくなる
だから 出来る限り商売を続け 日常を守りたいのだと
わたしも…いえ ノカナティカの民は 皆同じ気持ちでしょう


…いつも助かる
いえいえ昔からのお得意様ですから




ふあぁ…
前ここに来たのって
サトウが指輪王になってすぐだったよね
…なんか
良かったなって



みんな…指輪のお姫様たち
いいコばっかりで
あのとき覚悟は決めたって言ったけど……
サトウに他のお嫁さんが出来るのはやっぱり嫌だった
でも今になってみるとなんか思ったより楽しくて心配することとなんてなかったんだって
きっとサトウがずっとわたしのこと見ててくれたからだね


優しくて…
かっこよくて…
とても素敵な……
わたしの自慢の旦那さま♡


…なんかそんなふうに言われると
恥ずかしいんだけど……
でしょ？
恥ずかしがらせてるんだから
からかうなよ
でもホントのことだし
言っておかないと……ダメな気がしたんだ


ヒメ…


その…さ
先にふたりで部屋に戻らないか
こくん
……うん
ト…
ト…


はっ
…ん?
サトウとクリストルが居ないぞ?
どうした!?
先ほどおふたりで…もうお部屋に戻られたんでしょうか
にゃんだと!? ふたりだけで…アレか!!
ガタンッ
にゃんちくしょーっ!!
わたしの誘いには乗らんくせにい〜〜っ


ドキドキ
ドキ
ドキ
もにょ
もにょ
ヒメ…


大事な話があるんだ
みんなの前だと恥ずかしいからさ……今聞いてほしい
えっ…そんな改まって…
なに？なに!?
今更になってごめん
この世界での避妊(ひにん)ってどうすればいいんだ？


…は？
えっ…ひ
ひに…
ひにん!?
そういうことをして…
今…出来ちゃったら困るだろ…!?
…え？別にいいんじゃないの？
いや…よくない!!まだ俺たちには早い!!
そ…そうかな？
…そうかも
やっぱ…そんなことまったく頭になかった！


俺たちはまだ一緒に旅を続けなきゃならないから…
ヒメの身体への負担になるといけないし……
新しい家族を迎えるには…その……
ちゃんと戦いが終わって平和な世界になってからのほうが良いと思うし……
それに向こうの世界では俺たちはまだ高校生だったわけだし……
…でもえっちはしたいんだ
ふーん…
いやっ…!?
そりゃそうだよね～
わたしたち夫婦だもんねえ～



おじいちゃんに何か方法があるか聞いてみよっか……
あぁ〜…
イヤやっぱ無理！そんな恥ずかしいこと聞けない!!
むしろ聞いても無駄そうだな…今まで何も言ってこなかったし
そんなこと気にせんでもよろしい
若いふたりが
ワシがなんとかするから
ごめんサトウ
今まで気が利かなくて…
いいんだ
これは俺たちの問題だからな

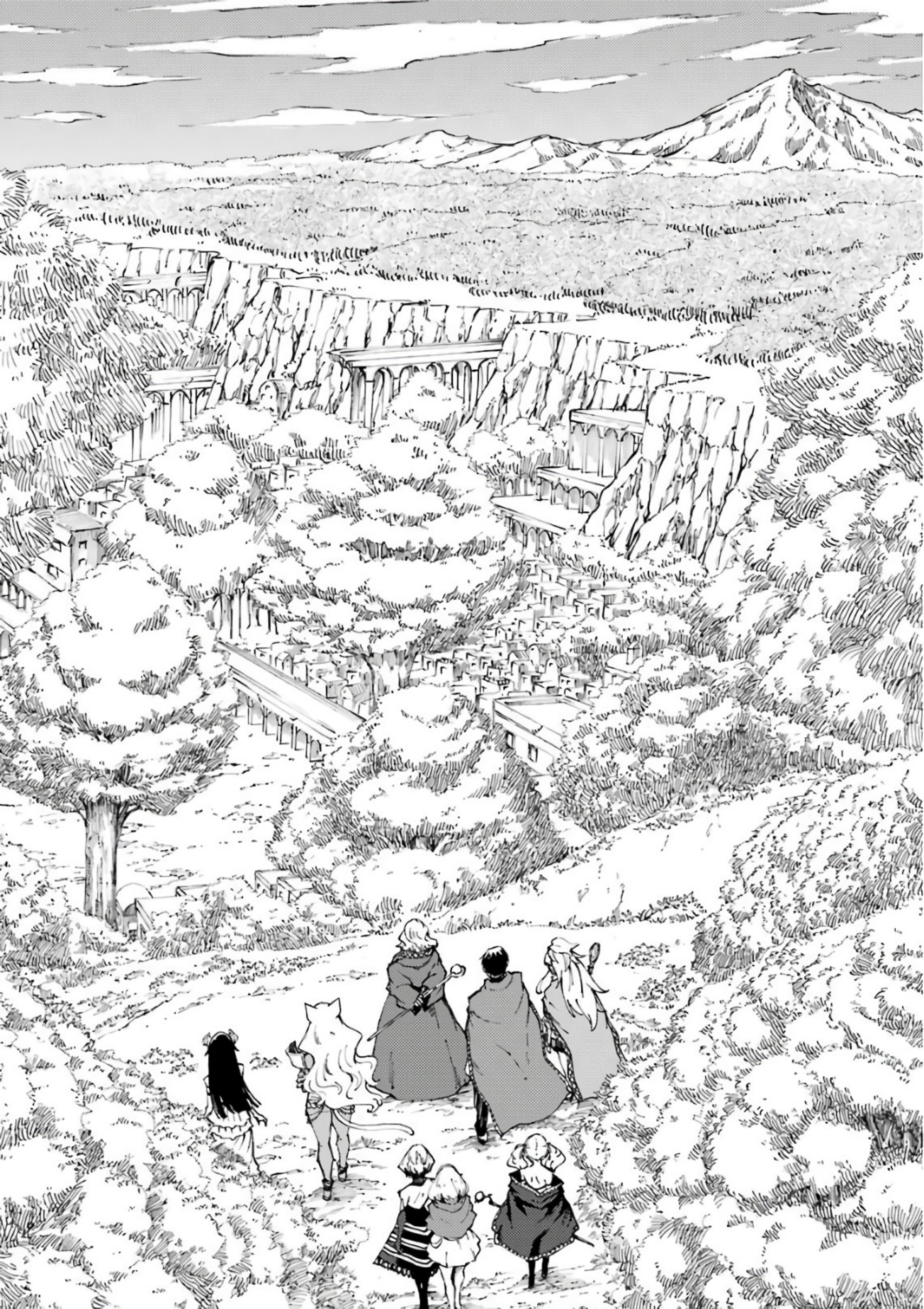

ふ〜ん
なるほどねぇ…
そういうことか……
なんかぎこちない関係だと思ってたけど
真面目なんだなぁ……
ふふっ
…これは使えそう♪

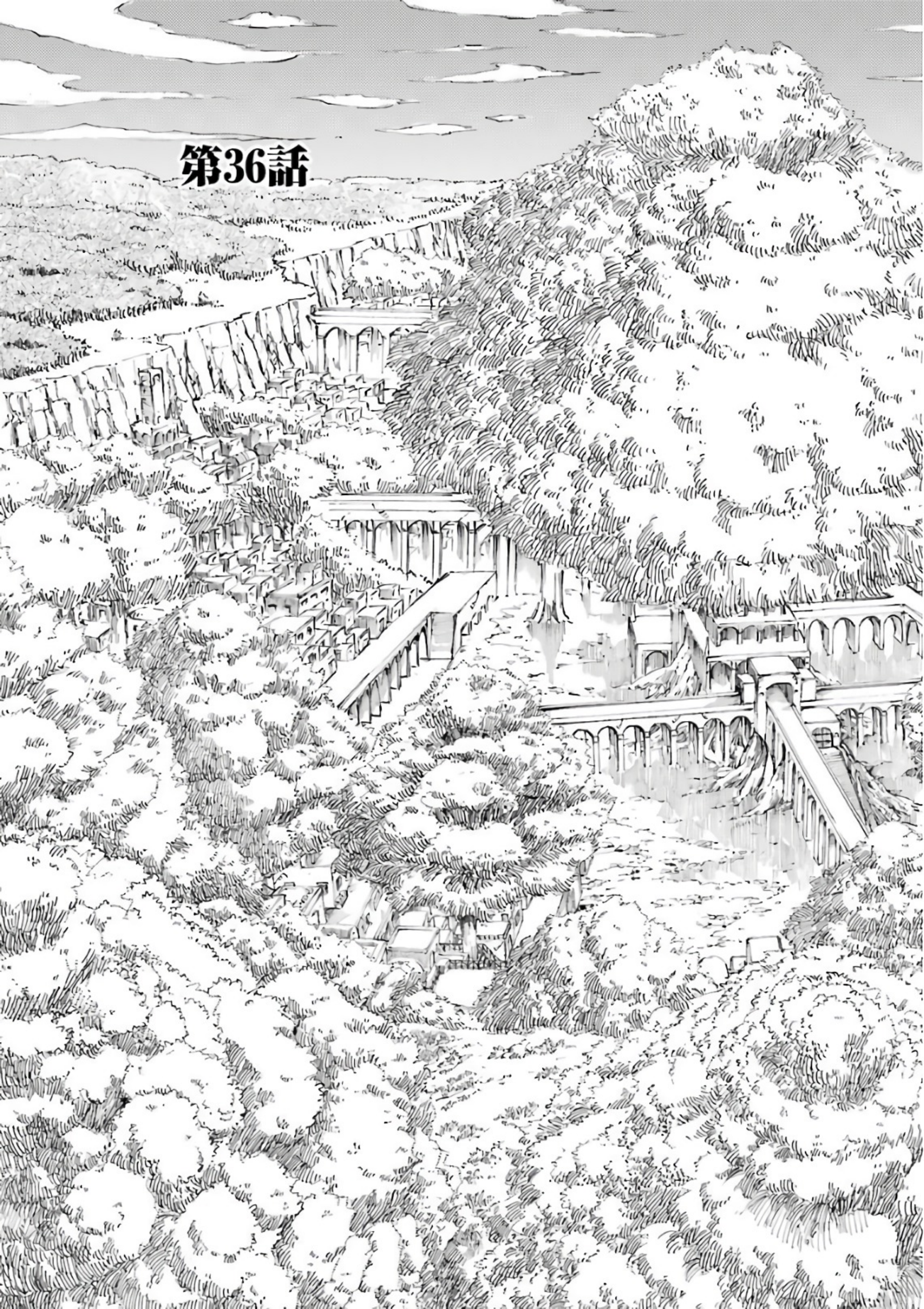

避妊具今からでも
持って来れない
だろうか……
⁉

結婚指輪物語

TALES OF WEDDING RINGS


はあ〜〜〜〜〜
まだ着かんのか…？
ノカナティカとロムカは近いとはいえ険しい道のりですし…
大山壁もしんどかったし山道ばっかりじゃ！
これが一国の姫のする旅か!?
本当にいちいちうるさいヤツだな…
やっぱりおぶってやろうか？
いらん!!
こんな山奥のど田舎ろくでもない所に決まっておる…
ほれ見えて参りましたぞ
…はえ？




第36話



おぉ…
これこそロムカのまことの姿
他者を拒む風の壁もすっかり消えて…懐かしいのう
やはり静寂と神秘に包まれた美しい国——
ズドドド
めちゃぶっそうじゃねーか!!


おや？人間か…すまなかったね
魔物を警戒していたものだからそれにしても旅人とは珍しい…
やや指輪王！
ネフリティス様も！よくご無事で！
今のぜったいワテとだー
それにしても……どうして指輪王がここロムカに？
ロムカにはまだ深淵の魔の手は及んでおらんようじゃの
ロムカは守りやすくヴァーンナーからも遠く離れております
それにエルフの弓と魔法は他種族には真似の出来ぬモノ
簡単には墜ちませんよ



ネフリティス… 聞こえているかい？
今日は 読みたがっていた 本を持ってきたよ…
お兄ちゃんだよ… 開けておくれよ……
ブツ ブツ
…今日も出てきて くれないのかい？
昨日も…今日も… 明日からも……
ジェード様… ネフリティス様が……
ネフリティスは 今日も 閉じこもっているんだ
あれから王宮の中で ネフリティスを 見た者はいない……
そしてこの扉の中を 見た者もいない……
つまり この扉を開けないかぎり ネフリティスは ここにいないと証明出来ない
いや ・・・・・・ ここに居るんだ…！
ネフリティス… ふふふ……
はぁ… ネフリティス様が ロムカを出られて すぐにああなられて… ほとんどの時間 この調子なのです


お兄様…
…ああ？
ああ!!?
ネフリティス!!?
ネッフッフ
ネフリティス!!
お前は誰だ――!!!
ネフリ…
!?
違う！
ネフリティスはあの部屋の中に…


はぁ…
はぁ…
すまない…取り乱してしまって……
…して何用かな？
ああそうか ネフが兄に会いたいと… 指輪王のことなど捨ててまた兄と仲良くロムカで暮らしたいと……
違います
ガァーーー…


いや
〝エルフの大書庫〟…っていうのを見せてほしくてさ
指輪は揃ったんだけど今のままじゃ深淵王に敵わない…
だから指輪王と深淵王のこと…もっと詳しく知りたいんだ
過去の深淵王のことがわかるのはそこぐらいだろうって——
……なるほど大書庫か
確かに大書庫にならばそのような書物もあるだろう
だが……簡単に入れるわけにはいかないな
!?
あれはただの書庫ではない
我々エルフの…墓所なのだよ
墓所…？
そういえばそんなこと聞いたような…


エルフはその多くが生涯を研究に捧げます
何かを成すためではなくただ心を満たすために…
そして研究を本に記すのです
人間には想像もつかぬ長い生の末に積まれた知識……
それを形に残しておきたいという我らのささやかな願い
大書庫に収められている本はエルフの知性の墓標なのだ
書庫の本は読むための物ではない
永久に保存することにこそ意味がある
書庫が開かれるのはエルフが死んだときのみ…古くからそう決まっている
でもお兄様…
…とはいえ
そのようなことを言っている場合ではない………か
長老に相談してみるといい
書庫の鍵はあの方が管理している


…ふむ
許可は出来んな


なぜだ
墓地だという
話なら聞いた
だが世界の平和と
天秤に掛けられる
ものなどあるのか
…聞くが
指輪王よ
書庫へ行って
何を見る？
俺の力が
前の指輪王に
届かなかったのか…
それとも深淵王が
力を増しているのか…
そんなことも
わからない
今はちょっとでも
確かなものが
必要なんだ



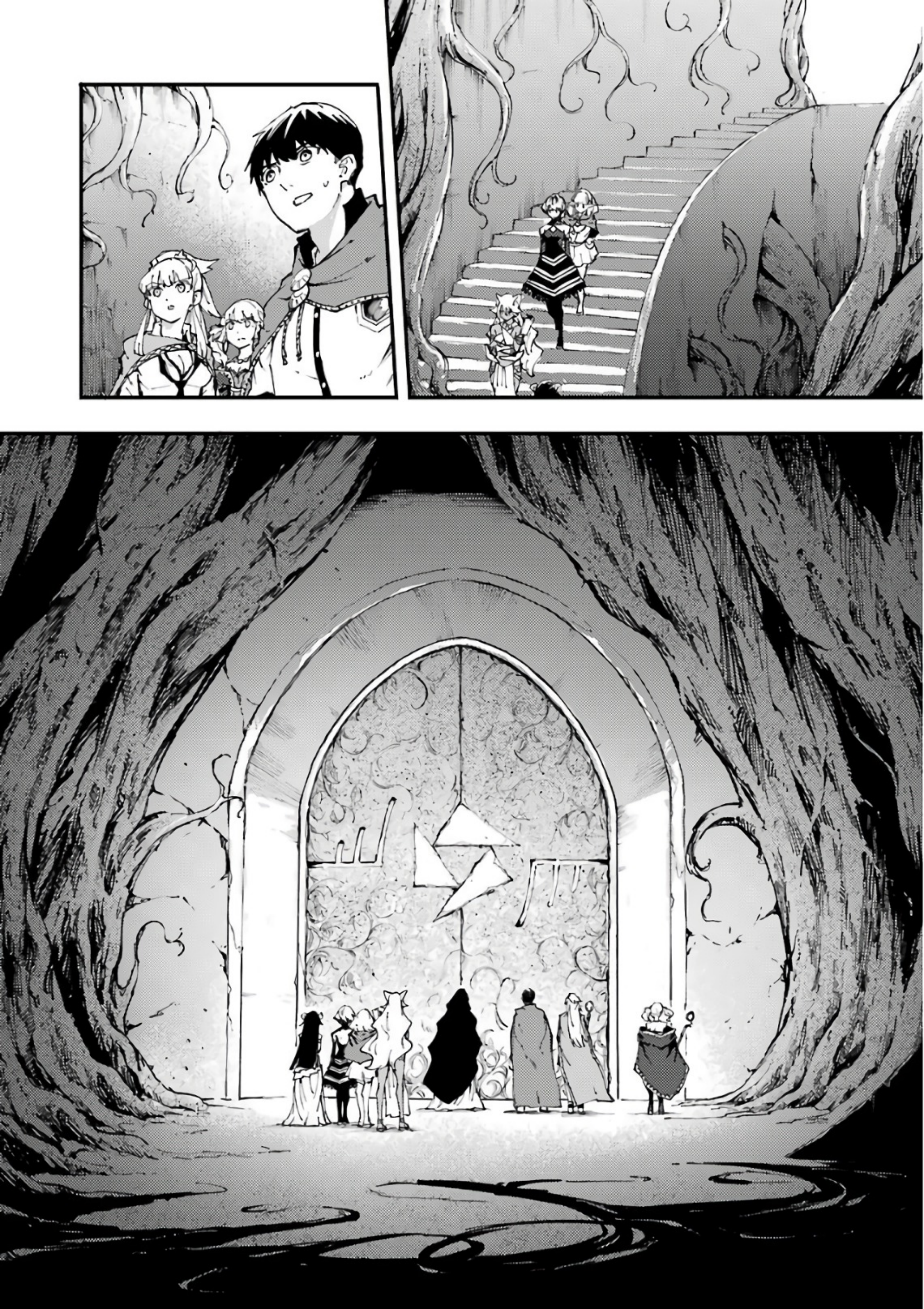
黒い指輪
あなたもご覧になったはずです
深淵王は神話に語られぬ力を身につけている
今は少しでも…知識を得ねばならぬのです
それならなおのこと無駄だ
黒い指輪の存在など私も知らなかったのだ
大書庫にも手がかりはありはしない
大書庫にあるのは過去の記録
今の深淵王の知識などありはしないぞ
今の戦いは今のもの
後ろを振り返るなど無駄なこと…
………
それより早く己の力をつけるべきではないか？
指輪王

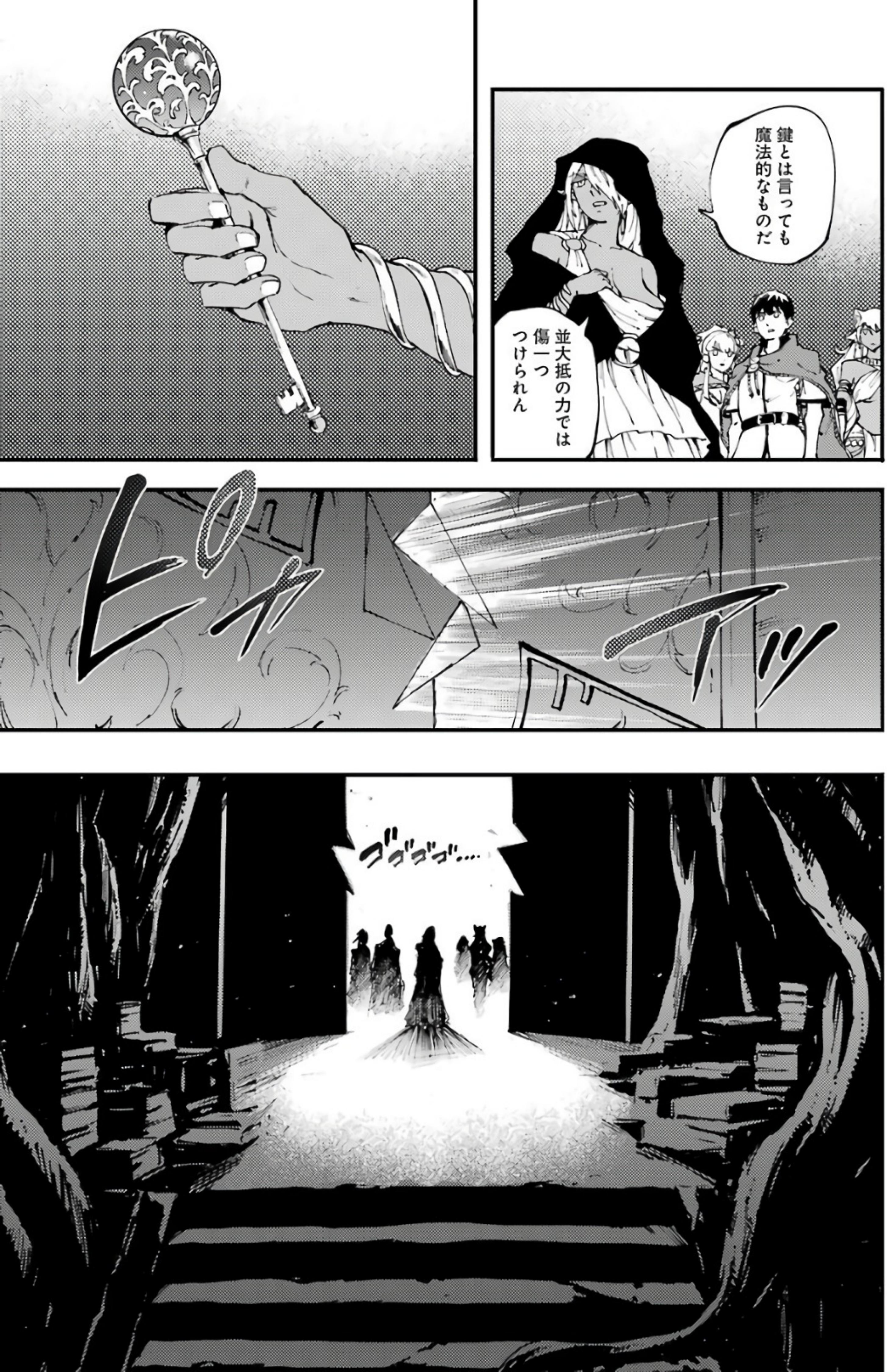

?
なんだ？その指輪は……
これは…深淵王との闘いのときに…一つになったんだ
指輪から声が聞こえてきて……
声…!?
それは指輪王のものか!?
それは…俺にはわからない
以前からたまに話しかけてきてたんだけど今はまったく反応がないし……


……ふむ
何もかもが昔とは違うということか
よかろう
大書庫に案内してやる


……
…なんか
怪しいんだよね
…？
長老さん…
何か
あたしたちに
隠し事してる
ような……
あの…
ところで長老様
スマラグディ様を
お見掛けしません
でしたか？
一度こちらへ
戻られたと
思うんですが……
…ああ 神鳥を戻し すぐに
ノカナティカへ
発ったが…
もしや入れ違いに
なったのか
そ…
そうか
ほっとするような
恐ろしいような
どうにもあの方は
極端に苛烈になって
おるような気が……
おじいちゃんも
たじたじね


ぬう…
たじたじ…？
たじたじとはどういうことですか
どうしてわたくしを待たずにノカナティカを出られたのですか
わたくしのことをやはり忘れてしまいたいのですか……
い…いや！そのようなことは…‼
わかりましたじっくりとお話を聞かせていただきましょう
ふたり…きりで………うふふ♡
のおおおおおお…
じじい退場





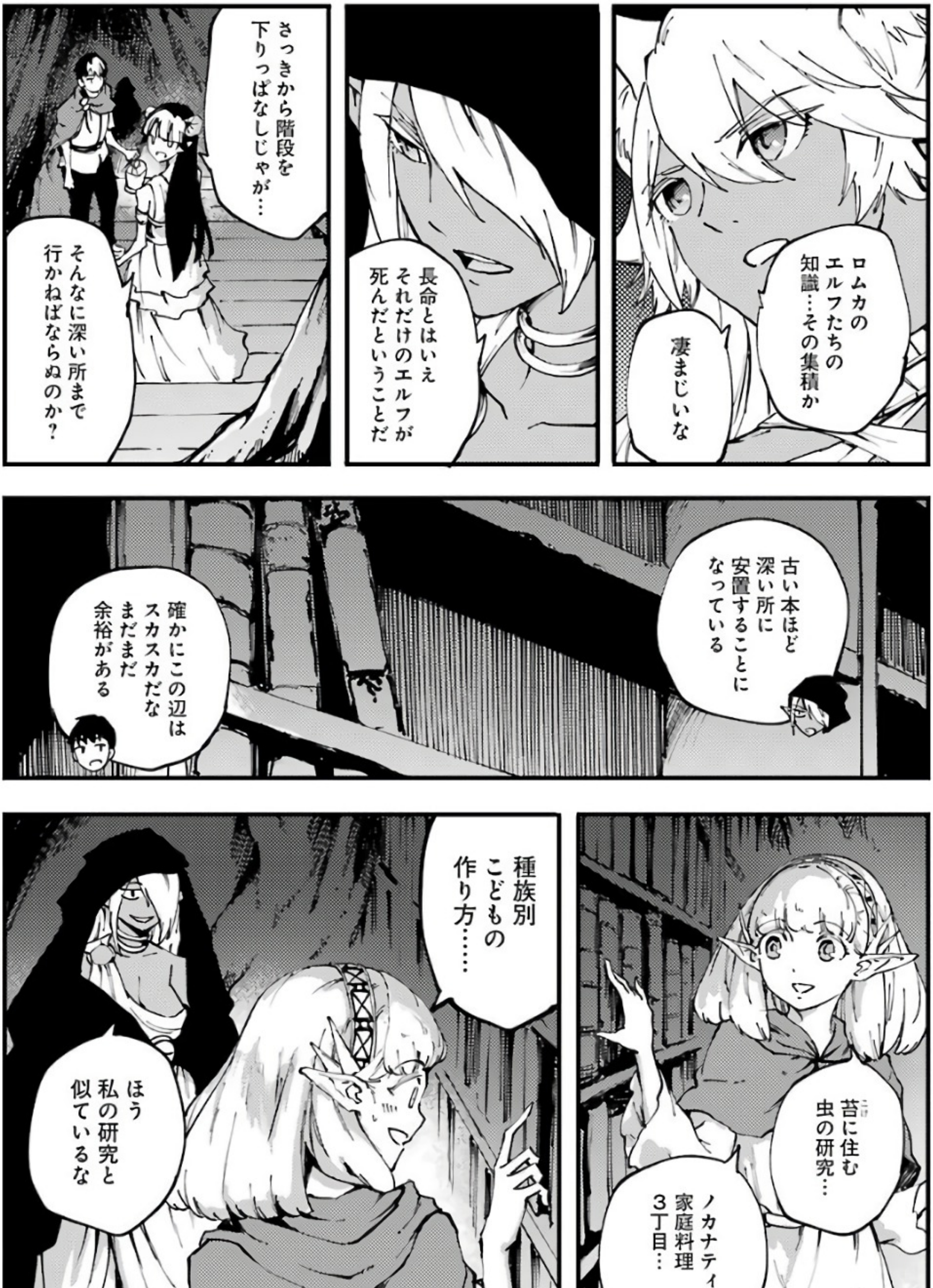
鍵とは言っても魔法的なものだ
並大抵の力では傷一つつけられん
ピイィィィィンッ
ゴゴゴゴ…



これを使え
わぁ！キレイ…
『凍てついた火』
火気厳禁の書庫に持ち込める唯一の明かりだ
聞いたことがあるのじゃ…！
熱を持たぬのに永遠に輝くエルフの秘宝！
ああ たったの千個しかない
意外と希少な物ではないんですよ



なんか…根っこが凄いね
大丈夫なのこれ
ここは元々あった空洞だ
ロムカの中心に大樹があっただろう
その根の隙間に出来た空間をもとに書庫を作ったのだ
しかしなかなか人の手が入らぬ場所だ
底の方はどうなっていることやら


ロムカのエルフたちの知識…その集積か
凄まじいな
長命とはいえそれだけのエルフが死んだということだ
さっきから階段を下りっぱなしじゃが…
そんなに深い所まで行かねばならぬのか？
古い本ほど深い所に安置することになっている
確かにこの辺はスカスカだなまだまだ余裕がある
苔に住む虫の研究…
ノカナティカ家庭料理３丁目…
種族別こどもの作り方……
ほう私の研究と似ているな


どうだ指輪王
今度こそ夫婦の営みを
見せてはくれまいか？
んんっ!?
いやっ
それは…
さすがにもう
慣れたものだろう？
……なんと
奥手な……
……ふむ
…だんだん
古い時代の物に
なってきた
みたいです


ダッ…
ここが最深部だ
深淵王によって…
一度この世界の書物はそのほとんどが失われた
そして…僅かに残った書は今度は人の手ですべて焼かれた
指輪王と深淵王の戦いその真実の姿が後の世に残らぬように…
どうして…
そんなことを……


誰もが恐れたのだ
深淵王と…指輪王 そして人の業を…な
ガコッ…
これが深淵王の時代の後 焚書を逃れ最初に収められた本だ
求める答えもそこにある
はっ
著者は〝ペリドート・ロムカ〟
これって…長老様の…!!


…そう
私が残した記録…当時の手記だ
私は………最初の指輪の姫だった
!!
かなりの長生きとは聞いていましたが…
なんで…それを最初に…!?
何も教えたくはなかった
過去の戦いはそれは惨いものだった


サトウ…
お前の姿を
見たとき
私は思ったのだ
何も知らぬお前に
その影を
負わせたくないと
しかし…
黒い指輪
指輪の声…
すべては
過去のままでは
ないのだな…
指輪王
そして輪の君たちよ
覚悟して
見ると良い
ゴゴゴゴ…


これが
最初の
指輪王の腕
私たち
指輪の姫の業だ


さぁ…じっくりお話しましょう
アラバスタさま♡

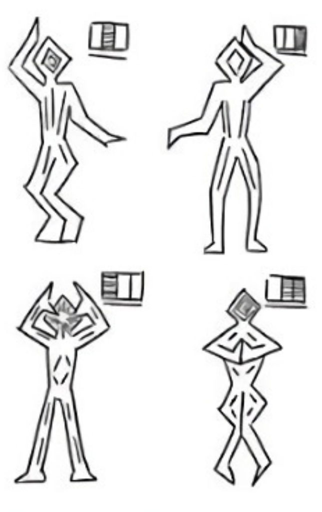
アーヌルス博物誌

エルフの大書庫はロムカ王宮の地下に存在が噂される世界で最も古い書庫である．知識の墓所，開かれぬ死蔵の書庫などの別名を持ち，エルフのみならずこの世界全ての書が収められているとされている．その存在そのものがあまり公にはされておらず，一部の賢者とロムカエルフ以外にはほとんど知られていない．かつて何人もの大賢者が知識を求め訪れたが，その扉が開かれる事はなかった．エルフたちが祖先の知識を独占するために書庫を封じているなどと噂される事もあるが，実際はそこが彼らにとってある種の聖域となっており，部外者のみならず里のエルフでさえもその安易な侵入を禁じているためである．

エルフは生涯を研究に捧げるが，その研究対象は個々人の好奇心に強く影響されるものであり，他のエルフに引き継がれる事は滅多に無い．残された膨大な研究書はしかし無用な物として処分されるのではなく，生きた証として大書庫の奥深くに収められるのである．死んだエルフたちの書物だけが収められる書庫．それこそがエルフの大書庫の実像であり，知識の墓所と呼ばれる由縁である．しかし，はたして死にまつわる聖域の側面のみが禁足地とされる由縁であろうか．他に重大な真実が秘匿されているのではあるまいか．隠されるとそう考えてしまうのが人の性といえるものであろう．

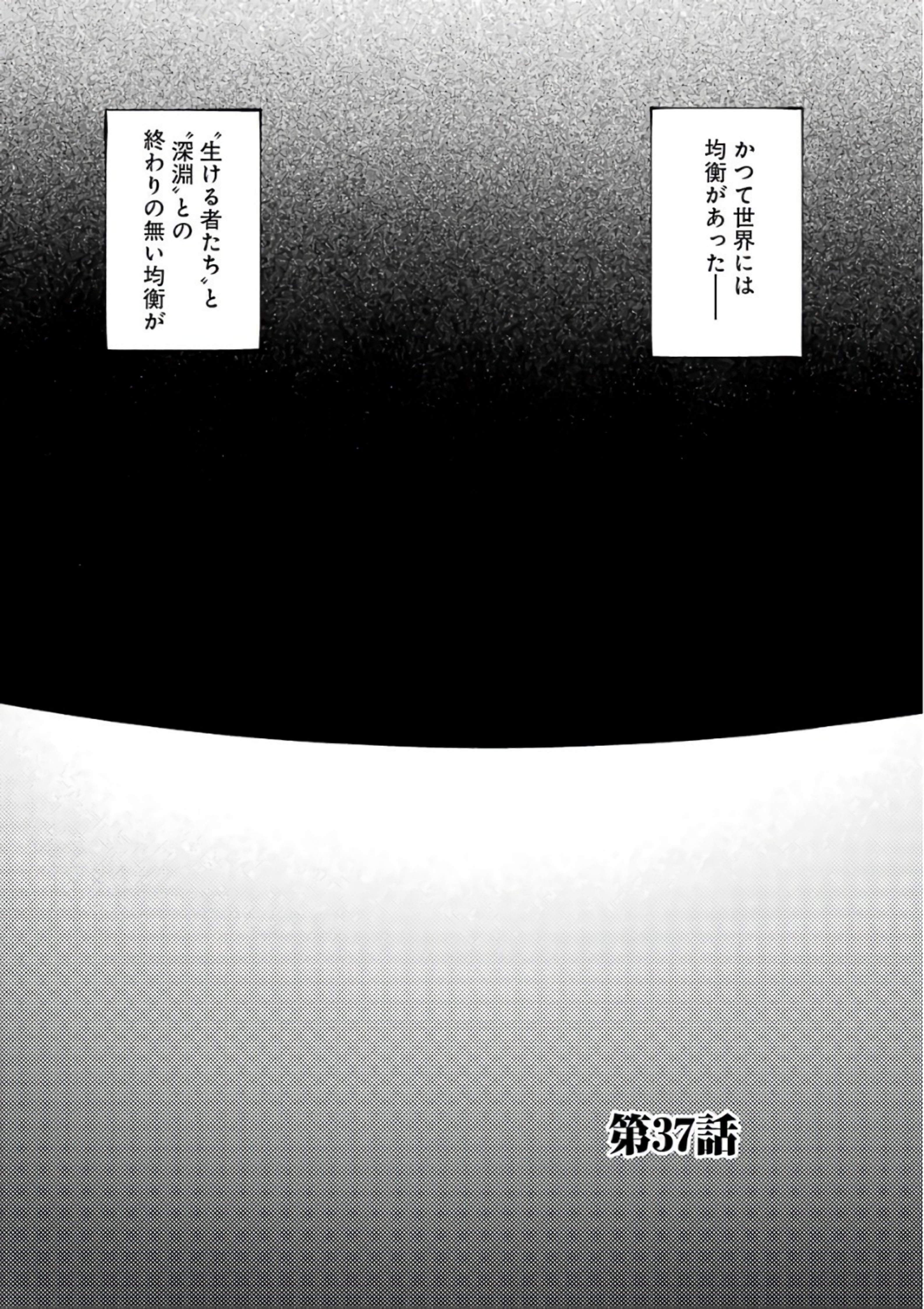
美人エルフの赤裸々な日々を綴った日記があるのだとか，若いエルフの妄想が記された黒い歴史書が存在するだとか，長老の乙女ポエムノートがあるのだとか，古来より現在にいたるまで大書庫に眠る収蔵品については様々な憶測が飛び交い続けている．

古代エルフ文字で「アー」「クイ」「ズィオ」「ブク」と記された退魔術式図



現代において魔を払えるのは光の魔法のみでありこの古代魔法が解明されれば歴史的発見となる

図は大書庫より流出したとされているエルフの魔法書の複製画である．詳細およびその真偽は不明であるが，古代文字の一種で禁断の究極古代呪文詠唱方法と記されており，このような禁書の類が大書庫には無数に収められていると考えられている．


かつて世界には均衡があった――
〝生ける者たち〟と〝深淵〟との終わりの無い均衡が
第37話


“深淵”
それは突然現れたとも世界の始まりから存在していたとも言われている
北方の闇より訪れ
魔物の姿をとり
人を襲い蝕む――
深淵の闇に蝕まれた者は死に
その身体は何も残さず消える
まるで元より存在などしていなかったように塵一つ残さずに…


深淵は幾度となく人を襲い…
人は持てる限りの知恵と勇気 魔法と剣で それに立ち向かった
多くの命と引き換えに 深淵をふたたび 闇の地へと押し戻す
人と深淵の戦いは 太古より その繰り返しとともに 続いてきた
だが均衡は 突如として崩れる
魔物たちの王
人の姿持つ闇
〝深淵王〟が現れたのだ


魔物は統率された軍をなし
北の地よりあふれ出した
人々は自らの国を守ろうと戦った…
深淵の闇はついに均衡を破り
世界を飲み込もうとしていた……
だが圧倒的な深淵王の力の前にいくつもの地が敗れさり
消えた
〝指輪王〟は
そんな絶望のさなかに現れた光だった



優しげな…
しかしどこか怪しげな男
男ははじめノカナティカに現れた
魔物の軍に囲まれ陥落を待つばかりのノカナティカに…

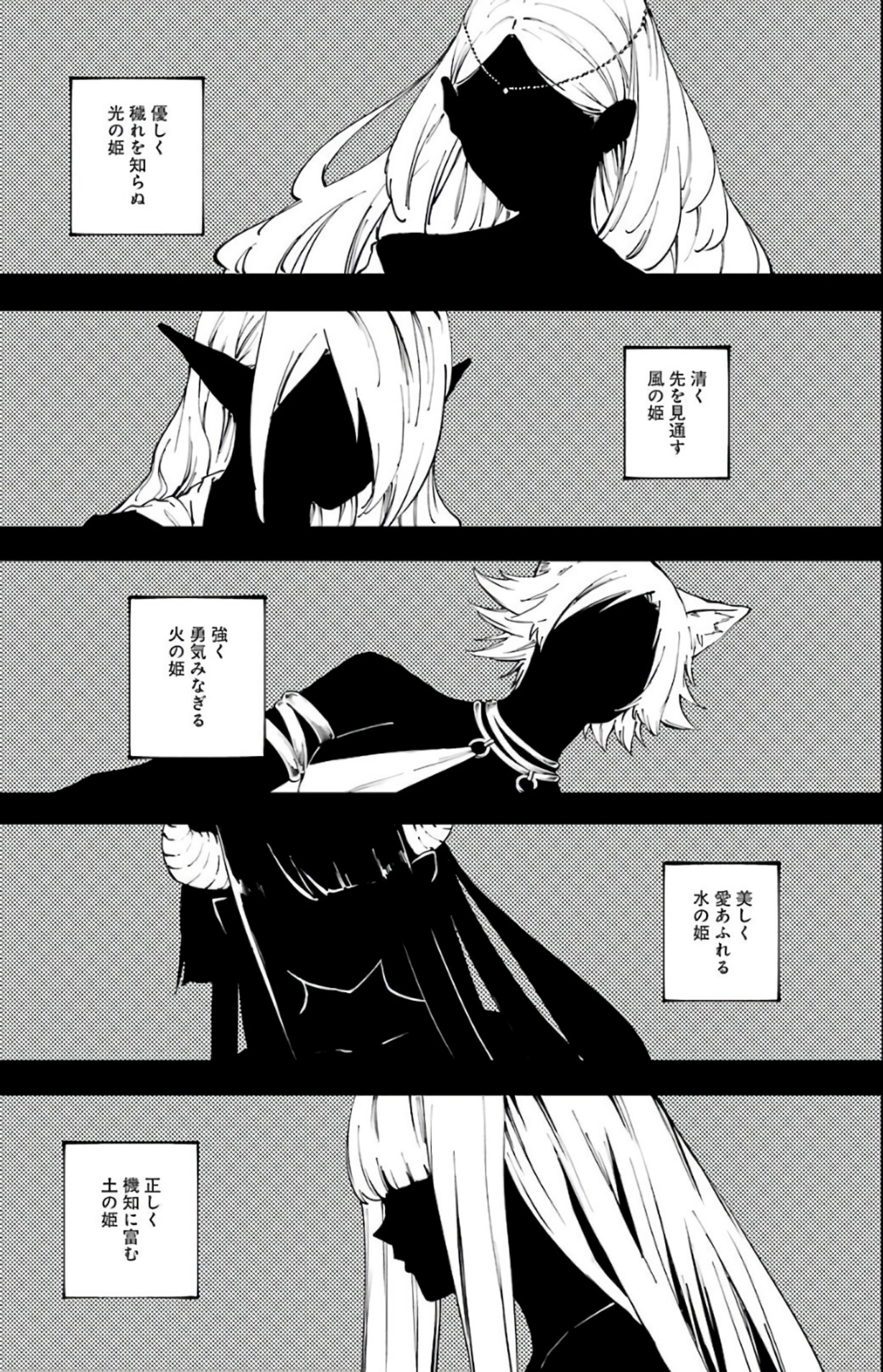



それは誰も見たことがない
“光の魔法”だった


男は強大な魔力とあふれる自信を纏っていた
その男はこう言った――
指輪の力の源は人と人との絆
神に賜った指輪の力をさらに引き出すため
どうか民草の心集める美しき姫君を我が妻に




〝世界を救う勇者の妻となる〟
こんなに誇らしいことはない――
男はこの世界の五つの種族から妻を娶った
わたしたちは喜んで男の妻となることを選んだのだ


優しく
穢れを知らぬ
光の姫
清く
先を見通す
風の姫
強く
勇気みなぎる
火の姫
美しく
愛あふれる
水の姫
正しく
機知に富む
土の姫


…ちょっと
待ってくれ……


清く……？
先を見通す……
風の姫って……？
もちろん
私のことだが？
指輪王は
妻を迎えるたび
自らの物と対となる
指輪を作り上げた
五つの種族に
それぞれ…
こうして五組の
結婚指輪が
生まれたのだ



世界を救う勇者 〝指輪王〟
その名は世界を駆け巡り その戦果は人々を励ました
人々の心は彼らの主たる姫君を通し指輪王のもと一つとなった
指輪王は戦い…
勝利をもたらす
そして その功に報いるべく… 私たちは身と心を捧げた
それが私たち指輪の姫の務め——


戦い……
……交わり
戦い……
……交わり
そして…また戦いに赴く……
……その繰り返し

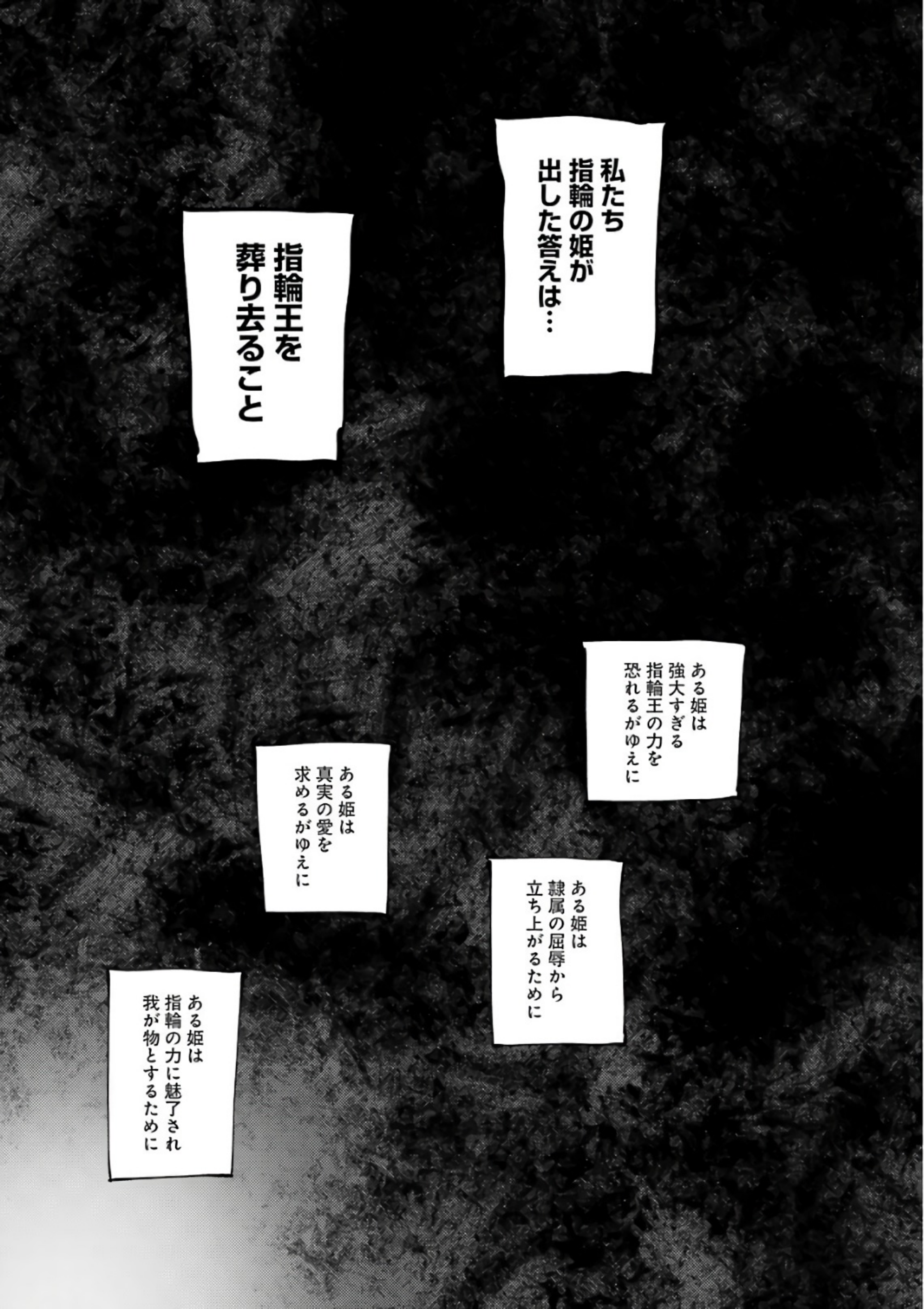

指輪王は強かったよ……
…だが深淵王の軍勢の勢いは衰えることはなくその戦いの激しさは増すばかりだった
世界の命運と自らの命を賭けた戦いに……
徐々に指輪王の心は追い詰められていった
……そこには
不安から肉欲に溺れる
ただの男がいた…


…驚いたか？
指輪王は語り継がれるような英雄ではない
ましてや神の遣わした救世主でも世界を救う仕組みでもない
指輪王とは…何者なんだ
わたしたちは神として崇められる指輪王しか知らない
『指輪王の出自は定かではない』
『さる古代王家の末裔 賢者の子…神の化身』
『様々に噂されたが指輪王自身が語ることはなかった』
………と


そう……
誰もあの男のことを
知らなかった
…いや
知ろうと
しなかったし
信じようと
しなかった
私たちには
こう言っていたよ
『最初の指輪は
畑で拾った』
……と
あの男は
ただの農夫
私たちと同じ
正真正銘　ただの人だ


……やがて指輪王は
力と欲に溺れはじめた
妻となった姫たちを力の器…あるいは欲を満たす物としか見ず
私たちのすべてを貪り力を引きずり出そうとした
すべてを奪われ私たちの心は疲弊した
それでも…世界のため私たちはただ耐えるしかなかった
心の繋がりも身体の繋がりも
どちらも指輪にとっては絆ということだ
指輪王は…ますます凄まじい力を発揮した


各地で
深淵の軍勢を倒し
国々を解放し
人々を救った
その力は
心持たぬ深淵の魔物ですら
怯えて見えるほどだった
だが…その力は
味方にまで
恐怖をもたらした
『深淵王が倒れたとき
次の支配者は
この男だろう』
『力に酔い
他者を軽んじるこの男が
支配する世に
平穏はあるのか？』


私たち指輪の姫が出した答えは…
指輪王を葬り去ること
ある姫は強大すぎる指輪王の力を恐れるがゆえに
ある姫は真実の愛を求めるがゆえに
ある姫は隷属の屈辱から立ち上がるために
ある姫は指輪の力に魅了され我が物とするために


ドチャッ
お前たちも…
俺を裏切るのか……!?
どうせ
そんなことだろうと
思っていたよ……!


呪われよ!!!
指輪も
姫も
この世界も!!
指輪は呪いの指輪となれ!
一つは姫の身から離れず
一つは姫の口づけを受けた者に!
力を欲する者たちに運命を狂わされ続けるがいい!
ふたたび深淵に世界が呑まれるそのときまで子々孫々苦しみ続けよ!

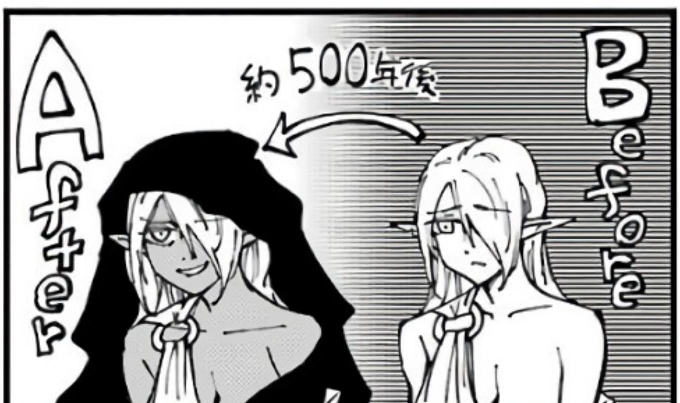

ただひとり
光の姫だけは
男を哀れんだ


そして深淵が蘇るとき――
光の姫の夫は新たな指輪王となる
その後五つの指輪はそれぞれの国に受け継がれ
私たち指輪の姫はすべての出来事を秘すことにした


……長い話に
なってしまったな
聞かせたく
なかった訳が
わかって
もらえただろう？
五つの国に伝わる
結婚指輪……
それはまさしく
〝呪い〟なのさ
伝承では…
指輪王は戦いで
深い傷を負い
5人の姫に
指輪を託し
何処かへ
去った……と
指輪王は
力に溺れ
私たち指輪の姫は
裏切りの罪を
背負った
現実なんて
そんなものだよ


サトウ…お前の目を見たとき
そうはならぬであろう光を感じた
私は…そこに少しでも影を落としたくはなかった……
しかし新たな指輪王としてここまで辿り着いてしまった以上……
直に伝えるべきだと思ったのだ
…さて
皆それぞれ思うこともあるだろう
私は先に戻っている
ここで知ったことは
どうかここだけの話にしてもらいたい




Before
約500年後
After

アーヌルス博物誌

指輪王は広く救世の英雄として知られているが，その生涯については様々な謎と疑惑が残されている．彼の生涯を記した確たる歴史書は現存せず，伝承と後世の創作とが入り交じり世に広く伝わる彼の姿を形作っている．一般的に知られる指輪王の伝説は概ね次のようなものである．

遠い遠い昔の事．いずこかより深淵王が現れ世界は闇に包まれようとしていた．闇を恐れた人々は世界を造った神に救いを求めた．人々の願いを聞き届けた神は，５組の結婚指輪と指輪王とを遣わせた．指輪王は５つの種族の５人の姫と結ばれ，その力を一つにまとめ，深淵王を打ち封じた．そして役目を終えた指輪王はいずこかへ去って行った．残された指輪は５つの種族の５つの国にいまも伝わっている．深淵王が再び蘇るとき，指輪王もまた現れ深淵を退けるだろう．

全く歴史的根拠の無いありふれた英雄譚である．神話の戦いで破壊された遺跡などから，おそらく５００年ほど過去の事だと推測されてはいるが，指輪王当人がどのような人間であり，深淵王をいかにして封じたのかは全く分かっていない．神話の戦いの際に全ての書物が焼け落ち，深淵王の恐怖が人々の口をつぐませたからだと言われている．
しかし，果たしてそのような事があるのだろうか？　一冊の本も残らず，誰一人指輪王の実像を語ろうとしなかったのだろうか？　なにがしかの理由によって，神話の戦いが秘匿されているように思われてならない．

さて，先ほどの伝説は最も広く話されているものであり，実際に各地に伝わるものは大きな差異がある．そしてその差異は非常に変化に富んでいる．いくらかの共通点をそろえ，脚色をほどこしたものが先ほどの伝説なのだ．各地で語られている伝説の原型をいくつか紹介しよう．

P124につづく

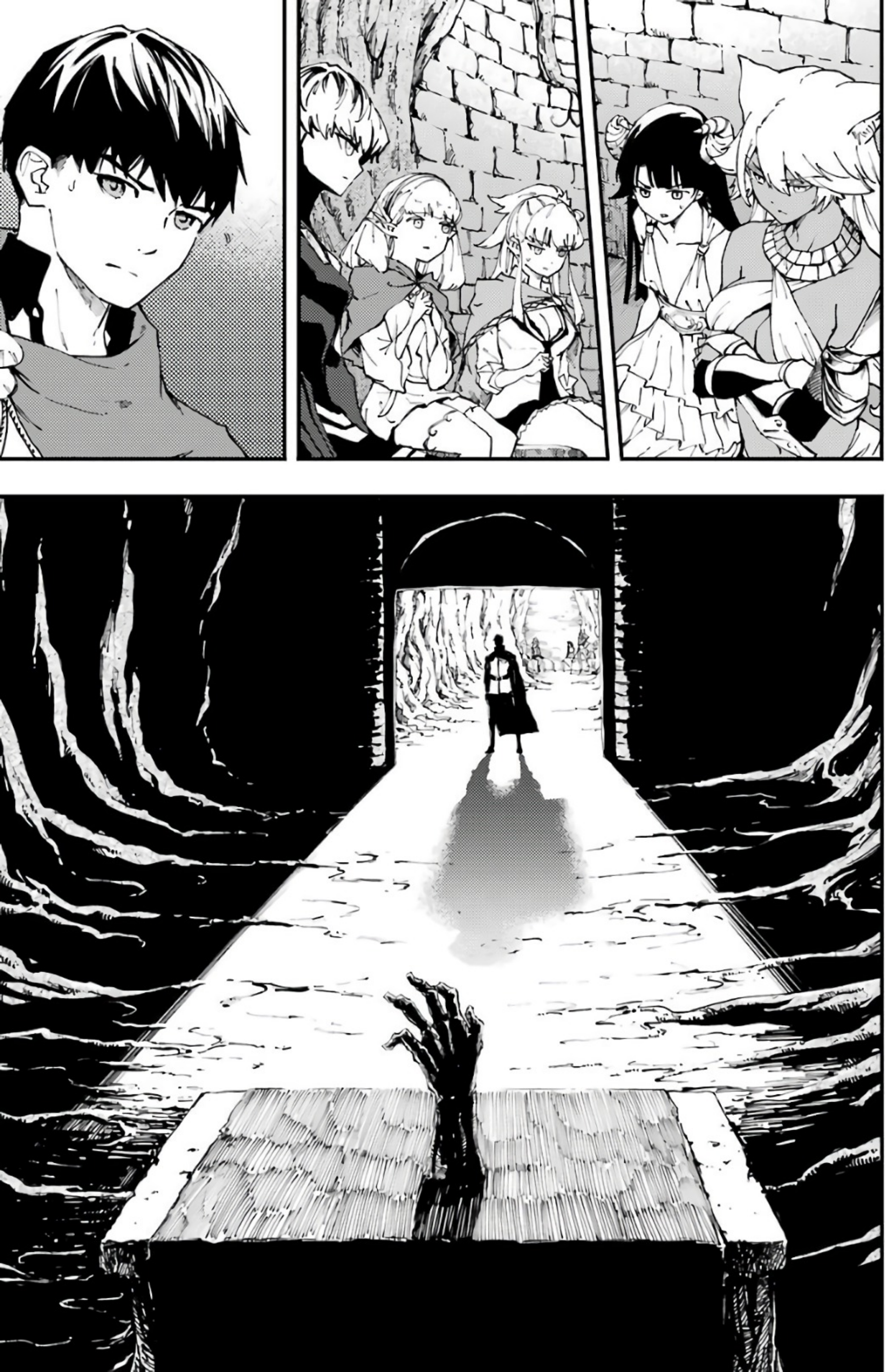

第38話


五つの国に伝わる
結婚指輪
それはまさしく
〝呪い〟なのさ


呪い……
か……


確かにその通りかもしれないな
指輪の力は絶えず人の欲を煽り続けてきた
猫人の姫は…指輪を求める男たちにとって力の証にすぎなかった
夫となる者は最も強き者
最も姫を愛した者では無い…
ロムカのエルフが外界との接触を避けるのもそういう理由があると聞いたことがあります
指輪はエルフにのみ受け継がれるべし…と
スマラグディ様と大賢者様のこともきっとそれが…
ふむ…
マーサの軍も由来は近隣への威圧だったと聞く
昔は指輪を巡る国と国との争いが絶えんかったのじゃ
妾たちもそのための道具の一つ
惚れた相手と結ばれるなど夢の話……


力を巡る呪い……
ま
指輪王を裏切って指輪を奪ってきたんだから自業自得じゃない？
その末裔であるあたしたちが
新たな指輪王の元に集って深淵王と戦わなきゃいけない…
これはきっと裏切者のあたしたちに課せられた責任だよ




あれが…
指輪王の……
力……
力を……
指輪の力……
!?
我の力…






ふむ…
そういうこと
だったのか……
我は指輪王の
思念のような
ものなのか
なるほど
……なるほど
また
指輪から声が…!?
自分のことじゃ
ないのか!?
なんで今まで
黙って……
我…だったものは
失敗したという
ことだな
力を
使い果たしていた
だが…そうか
そうか……


我はやはりお前を助けるべきだな…
冷静…だな
我も自分の存在に驚いている
光の指輪に残る我はかつての指輪王の一抹の善意……
いや後悔…というべきものか
サトウ…
どうしたの……？


あ……
!!
あの腕は!?
指輪王の腕はどこに行ったんじゃ!?
……消えた
…というか指輪に吸い込まれた
はあ!?
さらっと気持ち悪いことを言うの…
…指輪の力が少し変化している


本当に何事も無いのか？
まさかあの先代の指輪王に精神を乗っ取られたり……
じとぉ……
いやいやいや！
とりあえず今はなんともないし大丈夫…だと思うけど……
腕に残る僅かな力を奪ったに過ぎん
……お前も殺されればわかるかもしれんぞ？
……
……が何を言っても今は不安を拭うことは出来んだろう
すぐに感情に振り回される…女とはそういうものだ


どうかしたか…？
とりあえず……ここにいても仕方ない
地上に戻ろうか


深淵王に勝つためには力が……
力が欲しい…
一線を越えてしまえばきっと力を得ることも出来る…
何も問題なんか無い…
すべてが望み通りじゃないか


だけど
本当にそれでいいのか？
深淵王に全力で挑んだとき
俺はほんの少し愉しさを覚えていた……
…そんな俺が前の指輪王のように
力に呑まれないなんて言い切れるのか？


それに欲望にも……!!


はっ
指輪王の末路
スゥ〜〜〜ー…
やっぱりあやつなんかおかしいのでは？
グッ…
…あれ？どうすんだこれ
扉が閉まって…


話は終わったようだな
指輪王
長老!?
この扉開かないんですけど!?
まあ そこでそのまま聞くがよい
私から一つ頼みがあってな
?


指輪王
お前にはここで
力をつけてもらいたい
深淵王を倒す
力をだ
それまでこの扉は
閉ざしておく!!
な…
!?


この書庫は全体が強い魔力で守られている
唯一出入り可能なこの扉もこじ開けることは簡単ではない
ここから出たくばこの扉を自らの力で突破して見せよ!
そんな…無茶苦茶な!
なんだ……こんな扉くらい…
今のお前の全力では無理だよ
過去の指輪王ならば軽く叩き開けたかもしれんが…
少し…
下がっていてくれ




お前たちの絆は清い
それが新たな世代の力になると思っていたが…不安定すぎるのだ
現に先ほどの話を聞いただけでこの有り様
信頼という絆は揺らぐものだ
!!
サトウよまだ姫君たちに手を出しておらんのだろう？
この機会に済ませてしまえ


こんなときにふざけてる場合か!?
だいたい それであんたも指輪王も酷い目にあったって話だろ?
そんな後で何言ってんだ!?
だからこそだよ
力が欲しいのだろう?
深淵王をなんとしてでも封じねばならんのだ
手段や顛末がどうだろうと構わん
お前たちももうわかっているのだろう?
今思い出しても身体が疼く…
指輪王になぶり物にされた日々…
心の無い行為だったが
アレは本当に凄かった♡
!!?



この長い生の中で
アレを超える快楽は
ついぞ無かった……
…まぁ
死んで当然の
男であったが
私が多種族の交合に
興味を持ち
研究していたのも
その影響だ
強い魔力の
交換を伴う行為…
その快感は
普通では無い
今の指輪王と
致すのも
さぞ凄かろう…
立派な〃モノ〃も
持っている
ことだしな
じぃ〜〜…


この大書庫には私のかつての書物と研究施設を移設してある
そこに行けばしばらくは暮らせるだろう
そして……励め！夫婦の営みに！
"この扉を開ける者一切の悟りを捨てよ"


……と書いてあります……
ここか…？ここなのか!?
間違いないね…
とりあえずこのままじゃあたしたち干からびて死んじゃうし
まずは長老さんの言う通りにしないとね
…なぁでもさ長老さんの研究施設ってことは……
楽しみだなー
あ
ガコン
ゴゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ


モヤァァァ
やっぱりかー!!



書物の他に
収集物や実験道具を
収めるエルフも
居たそうですが…
ここまでの
規模のものは
聞いたことが
ないです
…なんか
モヤぁ…
…妙な匂いが
しないか？
特殊な香が
焚かれている
興奮
陶酔
催淫効果
サトウ…
こんなの
あったんだけど
ここは私が多種多様な
人々の交合を観察するために
作り上げた部屋だ
心を操る魔法は無いが
雰囲気を作ればコトを始める
生き物なんぞそういうものだ
ここで起きたことは
すべて私の仕組んだこと
気に病むことは無い
励め！ 致せ！ さらけだせ！
長老──!!


で
長老とやらの言うがままにのこのこやってきたわけなのじゃが…
やるのかやらんのかはっきりするのじゃ指輪王
わたしはもともと子作りが目的だ
猫人の強き子を産み育てる
クリストルの順番待ちさえ無ければすぐにでも構わんところだ
妾は指輪を渡したときから覚悟は出来ている


わたしは…クリストル様の後で構いませんし…
サトウ様が望むのでしたらいつだって……
その…サトウは気にしていることもあるかもだけど…
そういう状況じゃないとも思うし……
アンバルは何も問題無い
だけどさ……もしそれで力を得ても前の指輪王みたいになるかも…
サトウなら大丈夫！
絶対にそんなことにならない！
……と
思う……


強制されるのは
気に食わんが
いずれこうなる
宿命だったのだ
何を迷うことがある
良い機会じゃないか
言葉を選ばないならば
わたしたちは皆
サトウに抱かれることを
望んでいる
力のために…
愛のために…
使命のために…
理由は色々
あるが………
わたしたちは皆
サトウを
好いているのだ!
いや…妾は
べっつに…
抱いて
もらうぞ
指輪王
サトウ!


それでは
ま…まずは
わたしから…
いやいや
どう考えても
わたしでしょ!?
何を焦って
おるのじゃ…
ねぇ
お姫様たち
争っても
仕方ないし
こういうのは
どう？
絆を高めるために
順番にこの部屋で
過ごすの
お兄さんと
ふたりきりで
ね


その間のことは他言無用！
順番はねぇ…公平にくじ引きで！
なるほど出会った順というのも不平等だと思っていた
ソレで行こう！
あの…俺の意見は…
ふたりきりで何をするのかはお兄さんが決めること
もちろん何もしなくても良いんだよ？
何かあっても他の人には教えないで良いし
……
これで十分でしょ？
いいよね？お姉ちゃん
……
わかった



じゃあ決まりだね
それじゃさっそくみんなくじを引いて！
←くじ
1…
妾が2番目じゃ
3番です…
4……
5
わたしが…
いちばん最後――!?


ねぇねぇお兄さんのちん○んってそんなすごいの？
ニヤ
ニヤ

アーヌルス博物誌

マーサの片田舎に伝わる聖なる大河と指輪王の神話
かつて世界には大いなる父と大いなる母がいた．大いなる父は大山壁へ登り，大いなる母は大瀑布より続く聖なる大河へと赴いた．大いなる母が大河で洗濯をしていると大きな指輪がドゥブラコーンドゥブラコーンと流れてきた．指輪を二つに引き裂くとそれは一組の結婚指輪となり，引き裂かれた指輪の中から指輪王が生まれたという．

なぜ指輪王の指輪が一対の結婚指輪なのかという疑問と，指輪王の誕生を簡潔に示した神話であり，いまなおマーサ近郊の子供たちに広く読み聞かせされているものだという．ドゥブラコーンという特徴的な言葉が何を意味するのかは民話伝承学における最大の謎とされており，あまたの賢者が挑んだものの納得のいく答えはいまだ得られていない．

ニーダキッタに伝わる指輪王誕生神話
あるところに貧しいが清い心を持った男がいた．男はある日，人を助け，米を握った団子をもらいうける．そののち飢えた人に出会い，団子を紙と交換してやる．その紙を石版と，石版を金属の筒と，金属の筒を剣と…という風に次々と様々な物品と交換し，最後に指輪を手に入れ指輪王となり末永く幸せに暮らしたという．

荒唐無稽な物語ではあるものの，困っている人を助ける優しさと，それが他人のためならず自分の力になるという道徳的な内容である．指輪王神話はこのように教育的側面を持った物語としても受け継がれているのである．



児童向けに各地の指輪王伝説をまとめた書物『たのしいゆびわおうでんせつ』このような本は広く世界全土で親しまれている

指輪王の物語は民話のみならず，ノカナティカの指輪王祭りといった儀礼祭礼の形をとって各地に広く残されており，彼の功績が人々に長く愛され続けている事の証左となっている．


第39話


これから
…みんなが
ひとりずつ
この部屋に
やってくる
俺に…
抱かれる
ために…!!
ボッ
いやいや
いや!!


俺が心に決めたのは…
ヒメただひとり
この部屋で過ごすのは絆を深めるため……
何か他に出来ることだってあるはずだ
むくり
とりあえず…あれだ
まずはちゃんと話をしよう…


うわあっ!!?
驚いた？
びっくりした…
指輪王はアンバルの接近に気付かなかった
油断大敵
そ…そっか
最初はアンバルだったな
う〜む…


大丈夫
指輪王が心配していることはわかっている
あ…ああ…良かった
やっぱりこういうのってさ…
心配は必要無い
アンバルは男女の営みが出来るように設計されている
!!
男性器から体液を採取し
体内に保管されているドワーフの因子と交配させる
そうすれば子供が出来る
ええっ…子供ってまさか…!?
そうドワーフの最後の姫との子
指輪王との子供だからたぶん半ドワーフになる


そ…それは
責任重大だな…
そのために
アンバルの
体は
人間の男性を
興奮させられる
カタチを
しているはず
指輪王
確認してほしい
!?
…どう？
どうって…
ちゃんと
色々
ついてる!!
ここは…
ストップ!!
細かいところまでは
わからないです
ごめんなさい!!


…でも
綺麗だと思います……
指輪王の興奮を確認
こ…これはその！
なに言い訳しようとしてるんだ俺…!?
今回はこれで終了
…へ？
機能の確認をしたかっただけ
そもそもアンバルは指輪王と性行為をする必要が無い
アンバルは指輪王のために作られているから
これ以上絆が深まることはない


最初から
最高だから♡
ニコッ
だから
アンバルのことは
指輪王の
望むままに
すればいい
それが
アンバルの望み
アンバルの運命
…それに
体液は
クリストル姫との
行為時に少し
分けてもらえれば
問題無い
そんなんで
いいのか…


頑張って
指輪王
お…おう
キィ
バタム


ほれ
どうしたのじゃ
指輪王サトウ
サフィールちゃんと
ちょめちょめ出来る
チャンスなのじゃ
どうした？
はようせい


ごめん…
なんかサフィールにはそういうことする気が起きないっていうか…
は――――!?
人間わからん!!
妾 超絶美少女なのに!?
種族の価値観の相違か!?
自己評価高いな…
わらわは…わらわは…
およ…
指輪王の慰み物になっても構わぬという覚悟で嫁に来たというに…
そんな感じだったっけ……?
いや…
俺にはその……単にサフィールが幼く見えて……
幼っ!!?


どこが…妾のどこが幼いというんじゃ…？
妹のサファイラだってもうマルスとよろしくやっておるというのに!?
口調だって妾のほうが大人っぽいのに!!
そんなつもりだったのか
…まあよい
そもそも妾もお主に興味なんぞないからの
さいで…
多くのおなごに慕われ決断せねばならぬのは辛かろう
じゃがお主の望むまま好きに決断すればよい
妾はその様を見て楽しませてもらうのじゃ
王宮では清楚なお姫様じゃったからの
外はしんどいこことも多いが今はまぁわりと面白い


それと…
妾の身体がほしくなったら正直に言うのじゃぞ?
言わねーよ
くくく
それじゃ妾はここらでおいとましまして向こうであやつらでもからかってやるかの
…あんまり余計なこと言うなよ


…うぅ
パタン
サフィール!?
ひどい…サトウはひどいヤツじゃ……
嫌がる妾に…あんな欲望の限りを…
!?
??
!!
…
はーい
パンパン
次はネフリティス様の番だよ〜
けろり
なんじゃつまらん… お主なかなか食えぬやつじゃの
ほっ…
なんだ…


あいつも…
あいつも…
あいつもでっかいものなぁ…
乳か…
安心してください
わたしは…クリストル様の先に行くことはありませんから


もう少し…
お側に寄らせていただいても…
いいでしょうか？
ああ…うん！


ぴとっ…
ごめんなさい…わたし夫婦らしさというのをよく知らなくて…
間近で見たのは両親だけなので…
いやっ…俺もそんなに詳しくはないから……
…ふふっ
わたしいつも出来るなら
こうしてずっと側に寄り添って居たいと思っているんですよ?
ドキッ…


サトウ様のお気持ちはわかっています
クリストル様を本当に大切になさっていて…
わたしは何番目でも良いお側にいられるだけで良い…
……そう思っていたんですけど――
わたしはサトウ様が一番です
でもあなたは違うんですよね？
きっと待っていてもそれが変わることはないでしょう
…それでも
出来ることならもっと愛されたいと……そう思ってはいけませんか？
俺は……


わたし
クリストル様に
安心してください…って
言って来たんです
何もしないって
約束をしました
でも
ちょっとだけ…
約束を
破ろうと
思います






バタン
トッ
トッ
大丈夫です
こそり
サトウ様は何もしませんでしたから
そ……
そっか…


よし!!
次はわたしだな
頑張ってくださいねー
ちらっ
あわわ…
フフフ…
焦ってる焦ってる


第40話
ふふふ…♡
覚悟を決めてもらうぞ指輪王サトウ
わたしの女としての魅力とお前の信念……
どちらが勝っているか…！


ちょっと待て!
いきなりすぎ…
ぽよ～～ん
ちょうど良い機会じゃないか
うわっ!?
ここから出るにはわたしたちは一線を越える必要がある…!
プルプル
観念しろ
腕力でわたしに敵うとでも?


ポ〇ム〜ン
ほれほれ……どうだ?
クリストルも立派だが……
フリ
フリ
フリ
フリ
わたしだってなかなかのものだろう?
ん――ッ
ん――ッ
ぷはぁっ
待ってくれ……これは長老の罠だ!
本当にこんなことする必要があるのか!?
あの過去の指輪王の話だって……
その心配はしていない


お前は自らの欲望のためにわたしたちを貪ったりはしないさ
お前は……クリストルを愛しているからな
!!
お前はただクリストルのためだけにこの世界に来た
…だからクリストルを裏切ることだけは絶対にしたくないのだろうな
その信念認めるよ
だけど…
だけれども…
わたしの
今のこの気持ちはどうなるのだ?


わたしには魔法は使えないし…
剣の腕だけではお前を守り切れない
だから せめて…指輪の姫としての務めは果たさねばと……
ただひとときで良い
わたしはそれでいいんだ
頼む……わたしに価値を与えてくれ
指輪王
グラナート……


もしかして焦ってるのか？
ニャ!?
ビクッ
べ…別に焦ってなどいないい！
お前もサフィールもいったいなんなんだ…！
いや…グラナートならもっと素直に
子作りしたいから
…とか言ってくるもんだと……
!!
しまった………
これでは……
これではまるで…
あの母と同じじゃないか


なんなんだ…？
〝価値〟って……
俺は今でも十分グラナートを頼りにしてるし……その十分魅力的だと思うよ
……ほんとうか？
わたしはちゃんとお前にとって魅力的か？
だったら少しくらいは…
それを態度で示してくれても良いんじゃないか？
今回はそれで許してやる


…………
……わかった
ぴと…


もももも
もういいっ!!
わかった!
十分だ!!
へ?
まだなんも
してなく
ない……?


なんだ…？
カラダが熱い――!?
こんなのはじめてだ……
そうか……これが……
グラナート……？
サトウ…
お前という男は……
難敵(なんてき)だな
!??


ぽへ〜〜…
あれ あれー？
どうしちゃったのかな〜？
ぽへ〜…
それじゃ最後はお姉ちゃんだね
その前に……お話があるから
ちょっとこっち来てくれない？


ついに……
ついにここまで
耐え切った
最後の
ヒメの番!!!
ガチャ…!
!!


サトウ…
お待たせ
いつもより
えっちな恰好
してる……!!
バルン
そうか…
ヒメも覚悟を
決めて
来たんだな
だったら……
だからこそ


俺はパートナーとして責任ある態度を見せなくちゃならない！
ヒメ…
サトウ…これ……
ぴら…
なんだ……それ？
えっちだ…!!
魔法の……紋様
避妊の効果があるんだって



…何？
話って……
お姉ちゃん
さ～……
避妊の方法
探してるん
だって？
聞いてた
の!?
聞こえ
ちゃった～
実はね～ あたし
見つけちゃった
んだ～
この部屋にあった
長老さんの本の中に
パラッ
避妊の魔法について
書いてあったの


どうしてもって言うなら〜……
試してあげてもいいよ？
ニヤニヤ
わ……わたしは別にっ？どうしてもってほどじゃないんだけど……
サトウもいい加減かわいそうだし…？心配事もないにこしたことは……
で　するの？しないの？
…する
お姉ちゃんやらしー
なんで!?
いいっていいって
家族計画大切だもんね♡
これはねぇ…生き別れのお姉ちゃんに対するあたしなりの応援だよ


この魔法が効いてる間は…
赤ちゃんが出来る心配はないって……
ごくり…
これは……
サトウが強くなるために必要なことだから……


サトウ……
えっち……
……しよ？
プツ――――ン…
（理性の切れる音）


がばぁっ
ヒメっ‼
きゃあっ⁉ サトウ…♡
今の俺はただ……
ヒメとえっちなことがしたい‼!
…ねぇ サトウ
……わたしも おなじ気持ち♡
ここ……… 触ってみて?


凄く……
……熱いの
……これ魔法のせいなのかな……？


…ふむ
女のほうからの
徹底した
誘い受け……
これが
異世界流と
いうものか
はっ!?
この声は
…長老!?
どっから
見て……
私の
観測室
だが?
見れなくては
意味が
無いだろう
それも
そうだけど……
今は空気読めよ!?
それは
失礼…
あまりに
初々しい空気に
黙っていられなく
なってな
まぁ
気にするな
若い二人で
存分に
励むと良い


バカヤロウ!!
見られてるってわかってて出来るかよ!!
ヒメの恥ずかしい姿は俺だけのものだ!
仕方がないな…
めんどくさ…
モアァァ…
なんだ…この煙!?
ねぇ サトウ… わたしもう ダメかも……
見られててもいいから…♡
まさか…!?



うわぁ……間違いねえ
はっ
グラナート⁉
ズル…
ネフリティス⁉
ズル…
サフィールまで…！
ズル…
アンバルは⁉


ほっ…
やっぱり無事か…
…って見てるだけかよ!!
たすけて!!
サトウ…
!!
ヒメ……!
ちょっと待って……
このままじゃ……
くっ…
だーっ!!
違うんだ!!
こういうのは違うから!!!



だっぱーーん
ザ
ーーー
ざあ
そうだ…
モーリオンはどうした!?
ちゃぷん…
呼んだ? お兄さん……♡
ダメだ こいつもしっかり巻き込まれてる!!


ふぱん♡
いけないなぁ…
お兄さん……
女の子のアピールにはちゃんと応えてあげなくっちゃ……
ちゅっ♡
ザバッ
ぷへっ


……ッ！
アンバル！見てないでみんなを止めてくれ!!
……止める？出来なくもないけど……
なんでもいいから早く！


じゃあ今から
全員殴って
昏倒させる
すまん!
頼んだ俺が
悪かった!!
くそっ…
手づまりか…
フン……
強情な男だな
不本意だが
手を貸してやろう
指輪の力で
女どもを
正気に戻す
!?
どう
やって…
うまく力を
組み合わせれば
可能だ
…そこは
我に任せよ


お前は思うままに力を放て
合わせてやる
…風よ!!!
その感覚を身体で覚えるのだ



ブワッ
オオオォ
ブワッ
催淫作用のある霧を浄化した……？
ふむ……そんなことも出来るのか…


バタム
どよおーーーん…
…みんな聞いてくれ
ごほんっ

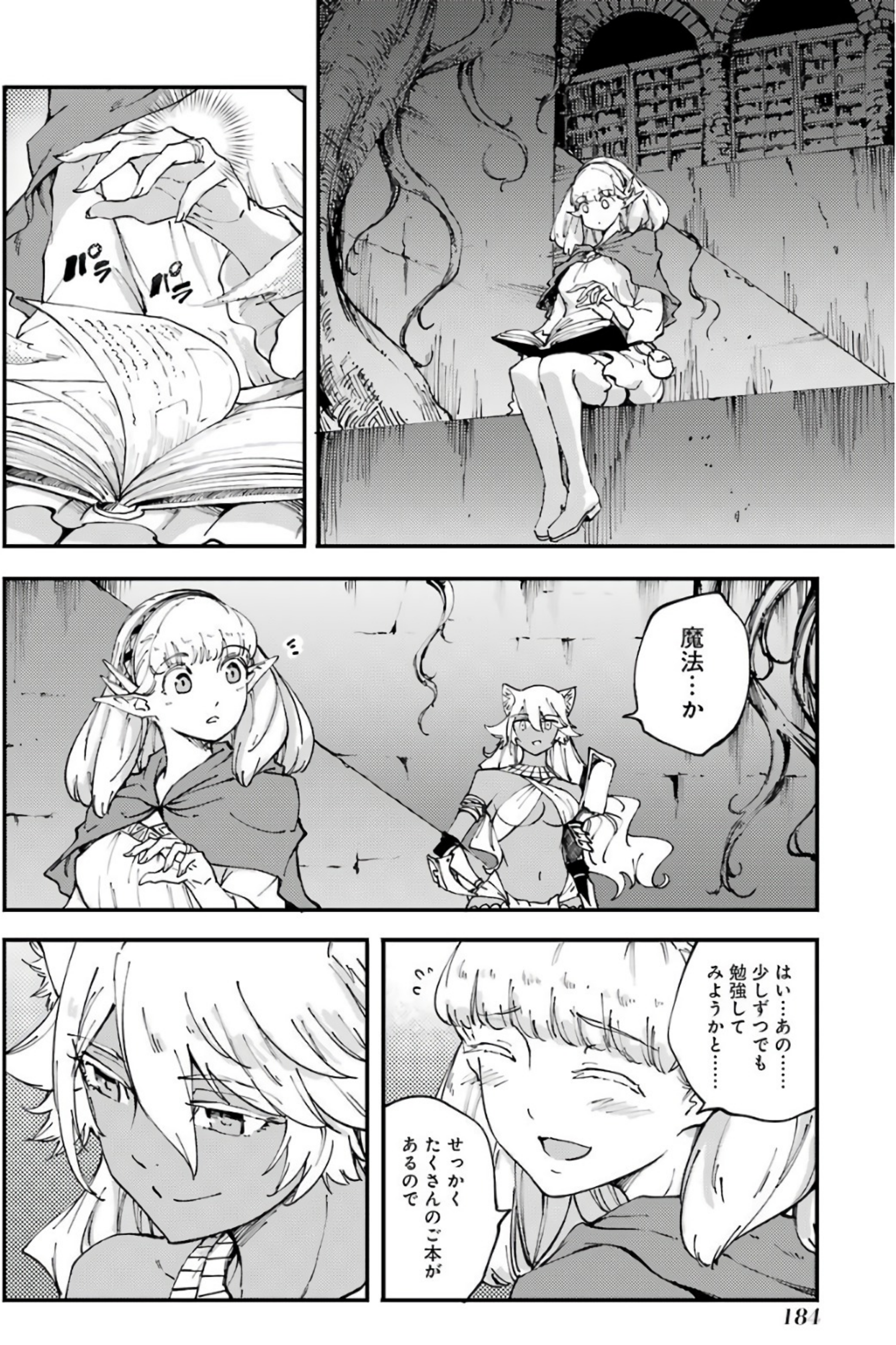

結ばれる……結婚するってのは……
丘の上の小さな白い一軒家で犬を飼いふたり仲睦まじく幸せに暮らす……そういうものだと思うんだ
なんか変なこと言い出した
長老さんも……
諦めないでくれ！
!?
確かに一度は失敗した……
だからといって次も駄目だと決まったわけじゃない


俺は……いや
俺たちはきっと乗り越えられる!!!


諦めるのですか？
あの人のことを……
あんまりではありませんか…
用済みとばかりに命まで奪うなど……
何を躊躇うことがある
わたしたちがどれだけあの男に辱められ貪られてきたか
わたしたちはあの男の力のために捧げられた贄にすぎない
これは正当な復讐だよ
…わたしはそうは思いません


あの人は ずっと一人で戦ってきました
わたしたちはただ求められることに甘んじ
共に立つ意思を持たなかっただけです
諦め……か


確かに……私は諦めていたのかもしれないな
私自身のことも……
あの男のことも
……まぁ
お前たちはお前たちの好きにするといいさ
じゃあ…
だが…
どのみち書庫の扉を開けてやるつもりは無い
自力で乗り越えてみせることだ
なっ!?


パラ
パラ
魔法…か
はい…あの……
少しずつでも
勉強して
みようかと……
せっかく
たくさんのご本が
あるので


サトウという男は
変わり者だな
手っ取り早く
力を得る手段が
あるのに
それに頼ろうと
しなかった
だが
そういうのは
懐かしくもある
わたしも
そうして
強くなってきた
出来ないことを
出来るように
するために
鍛錬してきたんだ
いつのまにか
足を止めてしまって
いたんだな
わたしは


…あ
そうだ！
面白い本を
見つけたんです
猫人の…
魔法に
ついての本！
!!
どういう
ことだ!?
猫人は
戦士の民だ
魔法が
使えるなんて
聞いたことも
……
古い本
なので…
どこまで
本当かは
わからないん
ですが…
実は……
結婚指輪物語⑦ おわり


俺は決して…誰とも何もしてないから!!
うん…眼を見ればわか……
いややっぱわかんないや

結婚指輪物語

TALES OF WEDDING RINGS



7巻あとがき

7巻はほとんど『大書庫編』ということで…
長老が久々に登場したり、指輪王の秘密が
語られたり、いわゆる○○○しないと
出られない部屋みたいなのが始まったり…
なんとも纏まりのない内容になって
しまいました。本当はもっと各ヒロインに
しっかり焦点を当てるところまで行きた
かったんですが…それはまた次巻で。

前よりは早い間隔で7巻は出せたので、
次もあまりお待たせしない内に
出せたらと思います。
それでは8巻もお楽しみに！

◀後ページにAnimagiC
レポ漫画載ってます。
よろしかったらどうぞ！


〝花嫁修業〞の
試練は
続く――。
NEXT
結婚指輪物語
TALES OF WEDDING RINGS
作：めいびい
第8巻 乞うご期待!!




めいぴぃ
(画)
(作)
の
AnimagiC体験記
ドイツで開かれるアニメ漫画のイベントAnimagiCそこにゲストとして召喚されたゴブリン(画)とオーク(作)
異世界転生や……まじめっちゃ緊張する
海外はじめて
ゴロゴロ
めちゃ楽しみやで
むかし行ったことある
ゴロゴロ
果たして世界を救うことはできるのか？
まずは飛行機でフランクフルトまで12時間――
ゴォオオオオ
緊張と興奮で眠れないかと思いきや安眠
着いた！めっちゃ暑いやん!!
日本よりは涼しいと思ってたのに!!
今年は稀に見る猛暑だったそう
お世話になっているKAZEの方がお出迎えしてくれました
日本語話せる方で正直かなり安心した
会場のあるマンハイムへ
会場前の公園に溢れるコスプレ！
めっちゃおる!!
街中を闊歩するコスプレ！
めっちゃ歩いてる!!
路面電車にもコスプレ！
こ…これはヤバいイベントかもしれん!!
会場内では日本のアニメ漫画のグッズがたくさん売ってたりゲームが遊べるコーナーがあったり
あともちろんコスプレがいっぱい
自分の絵でっかく飾ってある！うれしい!!



イベント中の僕らのお仕事は――――
日本でもやったことないライブドローイングとQ&Aやったり
取材受けたり
自然に日本語で挨拶してくれるファンのひと
がんばってドイツ語で挨拶しようとするオークたち
何度かサイン会をやったりしました
なんやこれ…？
最初は緊張ばかりしていたのですがドイツの方々と接する機会を経てファンの熱意は東西変わらぬものだと感じることが出来て大変良かったです
うおおおおおお
テンションの高さだけはぜんぜん違う…
イベントの後はドイツの色々な所を観てまわりました
カッコイイお城!!
ハイデルベルク…
すごい城塞がそのまま残ってる!!
ローテンベルク…
あとフランクフルトも少し……
ドイツ良いとこ一度はおいで…
初めての海外がこれで本当に良かった…Animagicに招待いただいて本当にありがとうございました！
あ゛ぁあぁああああぁあ
アウトバーンで時速250キロ体験
帰宅――
湿度たかすぎる…
やっぱ日本はクソ暑かった

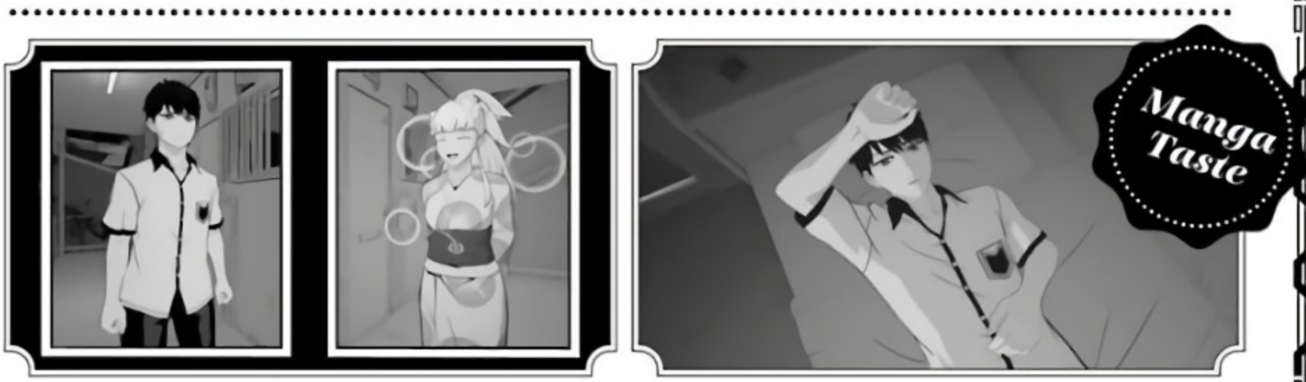

たくさんの"H"がつまった一冊!!
HEROINE
HAREM
ちょっとH
130点以上の
美麗イラストを
一挙収録!!
描き下ろしも多数♡


SQUARE ENIX. ※単行本発売時のまま収録しています。
この2人のヒロインが目印!!
10年目の初画集
めいびいARTWORKS 2008-2018
「結婚指輪物語」
「黄昏乙女×アムネジア」+α
NOW ON SALE!
価格:3,000円(税抜) 仕様:A4判/フルカラー184ページ



※単行本発売時のまま収録しています。

☆マンガのテイストを生かしたCG表現!!



☆360度に展開される、『結婚指輪物語』の幕開け!!



Awards

名だたる賞を受賞!!

WORLD VR FORUM 2018
最優秀賞
(IMPERIAI CROWN)
受賞

第75回ヴェネツィア国際映画祭
Best of VR
選出



詳しくは公式HPをチェック!!

http://www.jp.square-enix.com/mangainvr/weddingring/jp/

イラスト：めいびい

デジタル版　Ver.1.00

ビッグガンガンコミックス

結婚指輪物語⑦

著者／めいびい

2018年９月25日　Ver.1.00発行

発行所　株式会社スクウェア･エニックス

担当編集　小泉浩志

装幀　阿閉高尚

初出／月刊ビッグガンガン2018 Vol.03～Vol.08

カバー折り返し



めいびい

MAYBE

ドイツのイベントにお呼ばれして
はじめての海外を体験して来ました。

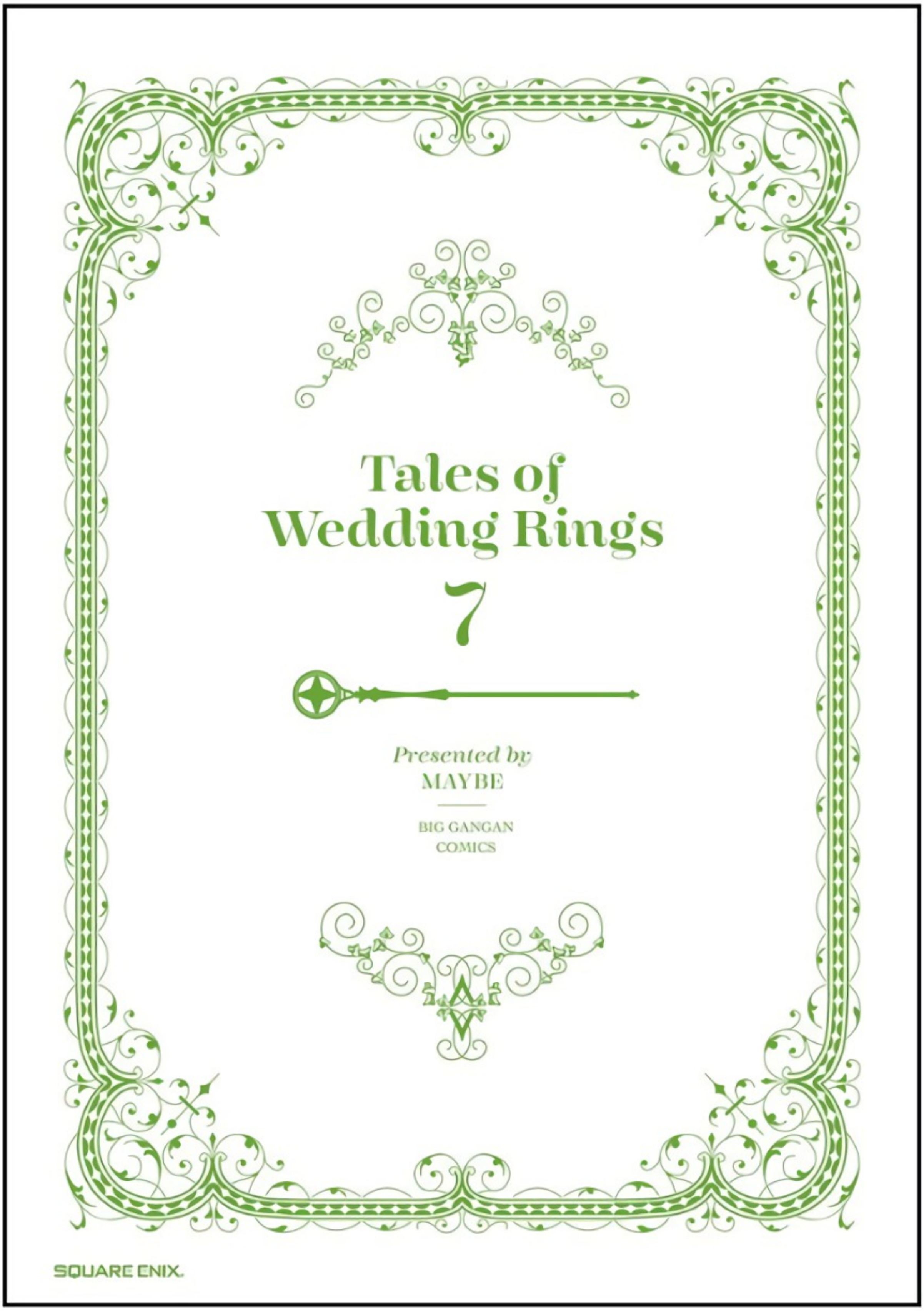
※コミックス発売時のカバー折り返しを収録

表紙 表



※コミックス発売時の表紙 表を収録

表紙 裏



※コミックス発売時の表紙 裏を収録

カバー裏

Tales of
Wedding Rings
結婚指輪物語

深淵王を倒すため、5人の花嫁と共にエルフの国を訪れたサトウ。
そこで先代の指輪王の真実を聞かされると共に、
なんと5人の姫と密室に閉じこめられる。
外に出る条件は5人の姫と××××……!?
大人気異世界ファンタジー、最大の(貞操の)危機迫る第7巻!!

7

Presented by
MAYBE

※コミックス発売時のカバー 裏を収録